



LAUNCH SYSTEM



ユーザーガイド

V 2.3

VFit、VTeach、VRange

最初にお読み下さい

ACCUSPORT

KNOW THE GAME

はじめに

AccuVectorX Launch System コンポーネント	4
コンピュータ要件 (Windows XP)	5
コンピュータ要件 (Windows Vista/Windows 7)	6
ビデオカメラ仕様	6
安全のしおり	7
お手入れと取り扱い	7
AccuSport AccuVectorX イラスト	8
ソフトウェアをインストールする前に – Windows XP	9
ソフトウェアをインストールする前に – Windows Vista、7	10
ソフトウェアのインストール (Windows XP、Vista、7)	13
ライセンスキーのインストール	17
データベースをインポートする	18
ソフトウェアの起動と AccuvectorX の接続	19

ご使用前に

バッテリーを充電する	20
ボールのマーキング	20

ソフトウェアの機能

ユーザーインターフェースの説明	21
ローンチダイアル	22
ファイル	23
エクセルに出力	23
テキストファイルに出力	23
レポート	23
企業情報の更新	23
AccuVectorX データをインポート	24
設定	24
初期設定項目	24
アキュベクターの選択	25
アドバンスモード	25
キャリブレーション	25
弾道規則	26
弾道曲線	26
ヘルプ	26
ユーザーガイド	26
バージョン情報	26
プレイヤーのデータベースを管理する	27
プレイヤーを選択する	27
項目を選択する	28
カテゴリーの選択	28

セットアップ

ボールのポジショニング	29
AccuVectorX、ノート型 PC、ビデオカメラのポジショニング	30
第 1 ショットを打つ	31

VFit ソフトウェア

測定データ履歴	32
測定データ履歴を削除する	33
平均値のみを表示	33
表を展開する	33
分析	33
画像ウィンドウ	34
ショット分析	34
ショット弾道	35
弾道別	35
クラブのインパクト	35
VTeach ソフトウェア	
ビデオカメラの選択	36
ビデオ撮影	37
ライブビデオ	37
ビデオ撮影	37
ビデオのみ	37
スイングビデオ画像	38
スイングビデオナビゲーション	38
画面上の注釈	38
測定データ履歴	39
クラブのインパクト	39
弾道	39
画像ウィンドウ	40
VRange ソフトウェア	
拡張可能ウィンドウ	42
ビューメニューオプション	43
測定データ履歴	43
画像	44
分析	45
トップビュー	45
サイドビュー	45
よくある質問	
一般的な質問	46
AccuVectorX のご利用	47
トラブルシューティング	48
エラーメッセージ	49
付録	
付録 A: フルレポート	52
付録 B: 平均値レポート	54

はじめに

AccuSport の AccuVectorX をお買い求めいただきありがとうございます。本製品は、現在市販されている中でも最新鋭のゴルフ弾道計測システムです。

本機を故障無く、確実に操作する為に、AccuVectorX の設定および使用前に本ユーザーガイドをよくお読み下さい。本ユーザーガイドに記載された操作方法以外で操作を行なったことに起因する不具合に関する保証は、無効となりますのでご注意ください。

本機のご使用および不具合に関する問合せ窓口。

株式会社 GPRO カスタマーサポート

営業時間：月曜日～金曜日（土日祝日を除く） 午前9時～午後4時

TEL：06-6428-6777

FAX：06-6428-0071

E-mail：golf@gpronet.com

製品の最新情報は、ウェブサイト www.xswinggolf.com をご覧下さい。

AccuVectorX Launch System コンポーネント



注：VFit、VTeach および VRange は別売ソフトウェアです。
購入に関しては golf@gpronet.com までお問い合わせ下さい。

コンピュータ要件

VSeries ソフトウェアは、以下の要件を満たすパーソナルコンピュータで作動しません。

OS : Windows XP Service Pack 3 (32 ビット OS のみ対応)

- **CPU:**
Pentium 4 : 最低要件- 1.7 GHz 以上のプロセッサ
Core2 duo : 最低要件- 1.83 GHz 以上のプロセッサ
iSeries – i3, i5, i7 : 最低要件- 2.0 GHz 以上のプロセッサ
- **メモリ:** 最低要件 2 GB
推奨要件 3 GB *グラフィックメモリ共有の場合は 2 GB 以上必須
- **ハードディスク:**最低要件 80 GB
推奨要件 250GB 以上
アプリケーション用 300 MB のほかに、プレーヤの記録や動画用に容量追加が必要
- **ドライブ:** CD/DVD
- **ビデオカード:** 最低解像度 24 ビットカラー 1024 x 768
Microsoft Direct x 9.0 以上 (128Mb オンボードメモリ)
VGA/DVI ポート (デュアルモニター対応には 2 ポート必要)
- **USB 端子:** USB 2.0
- **オプションビデオカメラ入出力ポート:** ビデオカメラ接続用 IEEE 1394A 端子

OS: Windows Vista または Windows 7

- CPU:
Pentium 4 (32 ビット OS のみ対応) : 最低要件- 1.7 GHz 以上プロセッサ
Core2 duo(32 ビット OS のみ対応) : 最低要件- 2.0 GHz 以上プロセッサ
iSeries i3, i5, i7(32/64 ビット OS 対応) : 最低要件- 2.0 GHz 以上プロセッサ
- メモリ: 最低要件 3 GB.
推奨要件 4 GB. *グラフィックメモリ共有の場合は4GB以上必須
- ハードディスク:最低要件 80 GB
推奨要件 250GB 以上
アプリケーション用 300 MB のほかに、プレーヤの記録や動画用に容量追加が必要
- ドライブ: CD/DVD ドライブ
- ビデオカード: 最低解像度 24 ビットカラー1024 x 768
Microsoft Direct x 9.0 以上 (128Mb オンボードメモリ)
VGA/DVI ポート (デュアルモニター対応には2ポート必要)
- USB 端子: USB 2.0
- オプションビデオカメラ入出力ポート: ビデオカメラ接続用 IEEE 1394A 端子
- ポート: イーサネット*
*は、(高速イーサネット/ギガビット)のCAT5クロスオーバーイーサネットケーブルを使用する必要があります

ビデオカメラ仕様:

重要: ハードディスクカメラおよびハイビジョンカメラには対応していません。
IEEE1394A 接続 および Mini- DV (テープ) ライブストリーミングカメラのみ 推奨。

- Microsoft Windows (Windows Driver Model (WDM)) 準拠
- 記録方式: デジタルのみ可 (アナログ不可)
- 出力端子: IEEE1394A コンピュータ接続
- フレーム数: 毎秒 30 フレーム以上
- 解像度: 最低 640x 480 ピクセル、最大 720x480 ピクセル
- シャッター速度: 手動調整
- 利得調整: 光学式利得調整
- 広角レンズ (オプション)

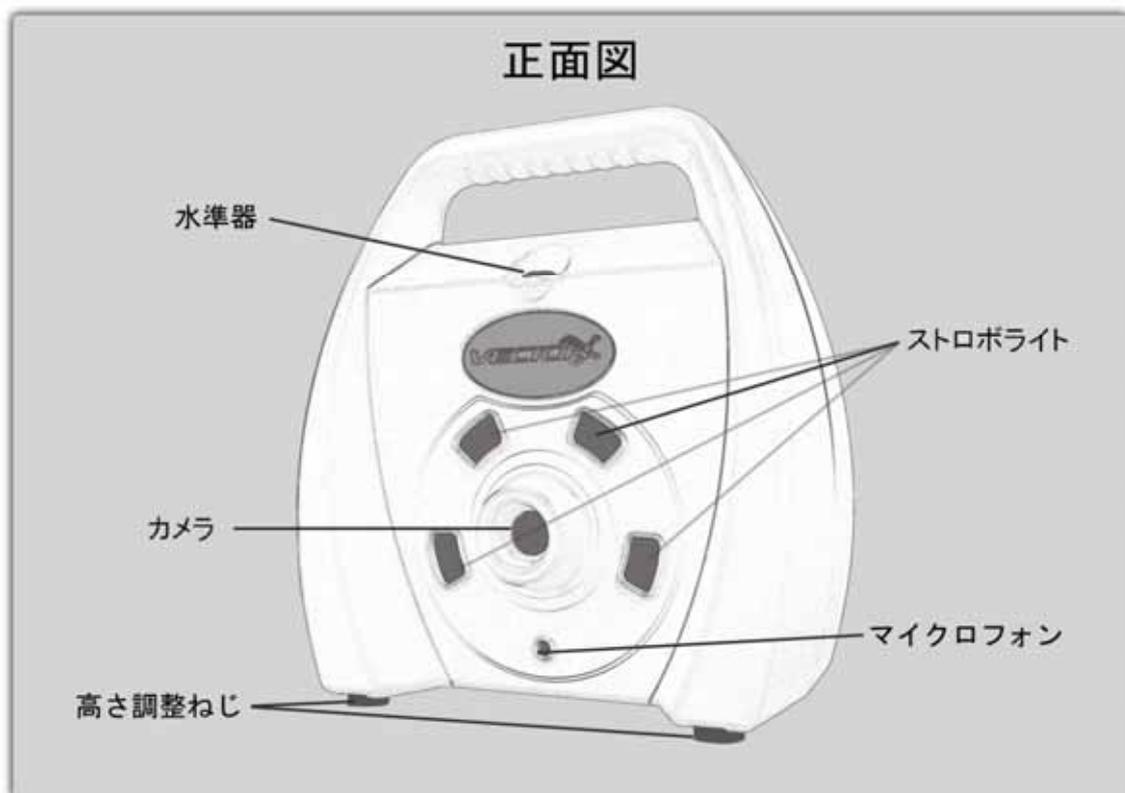
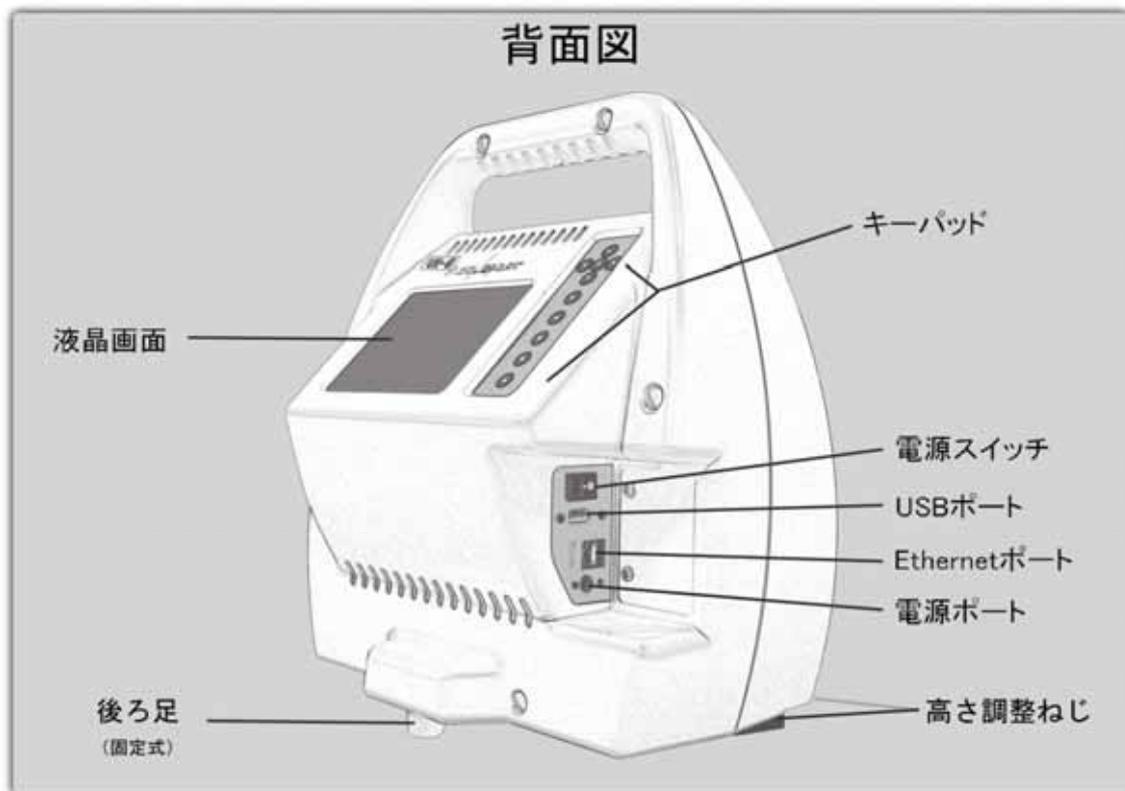
安全のしおり

- 製品に記載されているすべての注意事項と取扱指示に従ってください。
- AccuVectorX を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- スイングの際、AccuVectorX に当たらないようにしてください。
- AccuVectorX 本体の内部を開けたり分解をしないでください。内部には高圧電流が流れています。また、精巧な部品で構成されています。AccuVectorX を開けると、事故の発生や故障の原因になるばかりでなく、保証も無効になります。
- AccuVectorX にいかなる液体もかからないようにしてください。また湿気が入らないようにしてください。
- AccuVectorX またはコンピューターシステムの故障を避けるため、付属のケーブルおよび電源アダプタ以外はご使用にならないでください。

お手入れと取り扱い

- AccuVectorX には、バッテリーが搭載されています。AccuVectorX を充電するには、同梱の電源アダプタを接続し、本体の電源を入れて一晩または最低 6 時間充電してください。
- AccuVectorX のレンズをクリーニングする必要がある場合は、カメラや眼鏡用クリーニングキットをご使用ください。ペーパータオルやティッシュはお勧めしません。
- AccuVectorX ケースの外側は、湿らせた布で拭くことができますが、クリーニングをする前に AccuVectorX の電源を切り、電源アダプターを外してください。各種入出力端子等から本体内部に液体が入らないように充分ご注意ください。故障の原因となる場合があります。

AccuVectorX イラスト



ソフトウェアをインストールする前に- Windows XP

以下は、Windows XPのOS がコンピュータのUSB ポートを シャットダウンしないようにするため、および VSeries ソフトウェアの使用中にコンピュータの処理速度を落とさないために必要なステップです。

電源オプション設定

- 1) Windows XP のスタートボタンを選択します。
- 2) 「設定」 「コントロールパネル」選択します。
- 3) 「電源オプション」を選択します。
- 4) 「電源設定」のドロップダウンから「常時オン」を選択します。
- 5) 画面右下の「適用」をクリックして、次に「OK」をクリックします。

USB 省電力設定

- 1) Windows XP のスタートボタンを選択します。
- 2) 「マイコンピュータ」を右クリックします。
- 3) 「管理」をクリックします。
- 4) 「コンピュータの管理」画面から、「デバイスマネージャ」を選択します。
- 5) 右側のハードウェアリストから「USB (ユニバーサルシリアルバスコントローラ)」をさがし、「USB (ユニバーサルシリアルバスコントローラ)」の横にあるプラス (+) 記号を選択して、USB デバイスを表示します。
- 6) リストに載っている 1 番目の「ルートハブ」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- 7) 「USB ルートハブのプロパティ」ウィンドウで、「電源管理」タブを選択します。
- 8) 「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」というラベルの付いたボックスのチェックを解除します。
- 9) このウィンドウの下部にある「OK」をクリックします。
- 10) 「USB (ユニバーサルシリアルバスコントローラ)」の下にリスト表示されている残りの「ルートハブ」すべてに、7) ~ 9) を繰り返します。

ソフトウェアをインストールする前に – Windows Vista および Windows 7

以下は、Windows Vista または Windows 7 をベースとするコンピュータの電源オプションを正しく設定して、VSeries ソフトウェアと連携させるために必要なステップです。

電源オプション設定

- 1) Windows のスタートボタンを選択します。
- 2) 「設定」「コントロールパネル」を選択します。
- 3) 「ハードウェアとサウンド」→「電源オプション」を選択します（「電源オプション」アイコンを表示するには、場合によりウィンドウ右隅の「クラシック表示」を選択する必要があります）。
- 4) 「高パフォーマンス」を選択します（Windows 7 では、場合により「追加プランを表示する」をクリックする必要があります）。
- 5) 次に、電源プラン設定の変更を選択します。

注：以下の手順にある、「バッテリー使用」設定はノート型 PC のみで使用可能です。デスクトップコンピュータではレイアウトは類似していますが、「バッテリー使用」や「プラグイン」ラベルは存在しません。しかし、この手順で省電力機能付きデスクトップコンピュータにも Vector X を正しくセットアップすることができます。

- 6) 「コンピュータをスリープ状態にする」オプションを選択します。
 - 「バッテリー駆動」および「電源に接続」両方共に「分」の数字の横の下向き矢印をクリックして、「使用しない(なし)」を選択する。
- 7) その画面の下部にある「詳細な電源設定の変更(C)」を選択します。(新しいウィンドウが表示されます)
 - (1) 「ハードディスク」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択。「次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る」の横のプラス (+) 記号を選択、「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、「分」の表示が「なし」になるように「分」表示の横の下向き矢印で選択し設定します。
 - (2) 「スリープ」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。
 - 「次の時間が経過後スリープ状態にする」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択して「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、「分」の表示が「なし」になるように「分」表示の横の下向き矢印で選択し設定します。

- 「ハイブリッドスリープを許可する」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、「分」の表示が「なし」になるように「分」表示の横の下向き矢印で選択し設定します。
 - 「次の時間が経過後休止状態にする」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、「分」の表示が「なし」になるように「分」表示の横の下向き矢印で選択し設定します。
- (3) 「USB 設定」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。
- 「USBのセレクトティブサスペンド設定」ラベルの横にあるプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、下向き矢印を順に選択して、「無効」を選択します。
- (4) 「プロセッサの電源管理」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。
- 「最小のプロセッサの状態」ラベルの横にあるプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー使用時」および「電源接続時」を一度クリック後、「%」の表示が「100」になるように「%」表示の横の上向き矢印で選択し設定します。
 - 「最大のプロセッサの状態」ラベルの横にあるプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー使用時」および「電源接続時」を一度クリック後、「%」の表示が「100」になるように「%」表示の横の上向き矢印で選択し設定します。
- 8) このウィンドウの右隅下の、「適用」を選択して、次に「OK」を選択します。
- 9) 前項の「電源オプション設定」ページが表示されているので、「変更の保存」を選択します。
- 10) 右上の赤い「X」ボタンをクリックして電源オプションウィンドウを終了し、設定を完了します。
- 11) コンピュータを再起動します。

ユーザーアカウント制御の無効化 (Windows Vista および Windows 7)

Windows Vista および Windows 7 のオペレーティングシステムが、VSeries のインストールを妨害したり、アプリケーションを開く際にエラーメッセージが出たりするのを防ぐため、ユーザーアカウント制御の無効化を推奨します。

***インストール後にユーザーアカウント制御 (UAC: User Account Control) 設定を変更すると、ソフトウェアが不安定になることがあります。**

***インストール後にユーザーアカウント設定を変更しないでください。**

- 1) スタートを左クリックします。
- 2) 「コントロールパネル」を左クリックします。
- 3) 「ユーザーアカウント」を左クリックします (「ユーザーアカウント」アイコンが表示されていない場合は、ウィンドウの左の列の「クラシック表示」をクリックして、ステップ 3) の最初の部分をもう一度実行します。
- 4) (Vista) 「ユーザーアカウント制御の有効化または無効化」を左クリックします。
(Windows 7) 「ユーザーアカウント制御設定の変更」を左クリックします。
- 5) (Vista) 「ユーザーアカウント保護」チェックボックスのチェックを外します。
(Windows 7) 下部にあるスライダーを「通知しない」まで下へ移動させます。
- 6) 「OK」をクリックします。
- 7) コンピュータを再起動します。

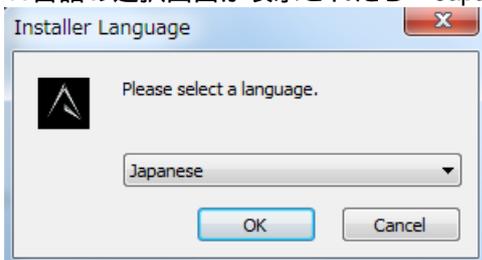
ソフトウェアのインストール (Windows XP、Vista、7)

*以下のステップは、Windows XP 向けです。外見は異なりますが、Windows Vista および Windows 7 も手順は同様です。

AccuVectorX をお使いになる前に、コンピュータにソフトウェアをインストールしてください。ソフトウェアのインストールが完了後に AccuvectorX をコンピュータに接続してください。

ソフトウェアのインストールが自動的に起動しない場合には、マイコンピュータから CD ドライブをダブルクリック、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

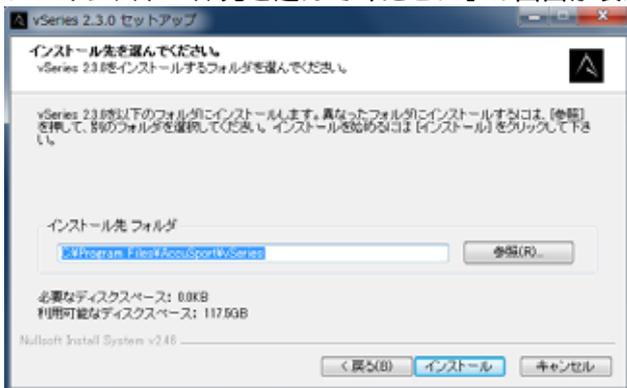
1. 言語の選択画面が表示されたら「Japanese」になっていることを確認、「OK」をクリック。



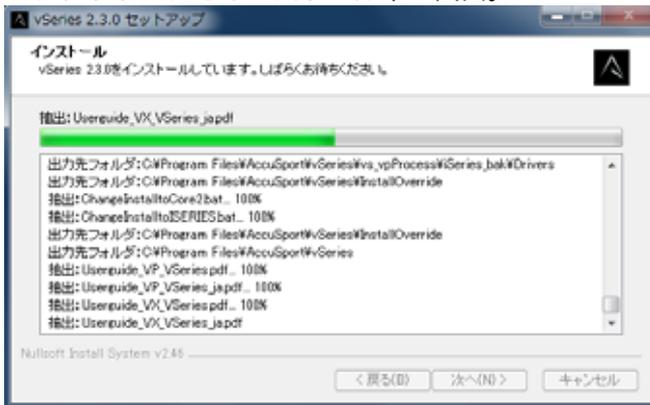
2. 「セットアップウィザードへようこそ」の画面が表示されたら「次へ」をクリック。



3. 「インストール先を選んでください」の画面が表示されたら「インストール」をクリック。

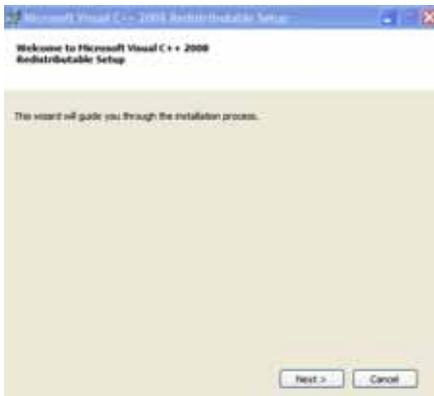


4. ソフトウェアをインストール中の画面。

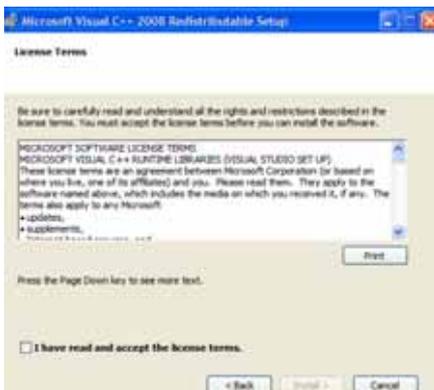


5. この画面が表示されたら「次へ」をクリック。Microsoft visualC++2008 がインストールされます。

この画面は表示されない場合はステップ 9 へ進んでください。



6. この画面が表示されたら下部のチェックボックスにチェックを入れた後「インストール」をクリック。この画面は表示されない場合があります。



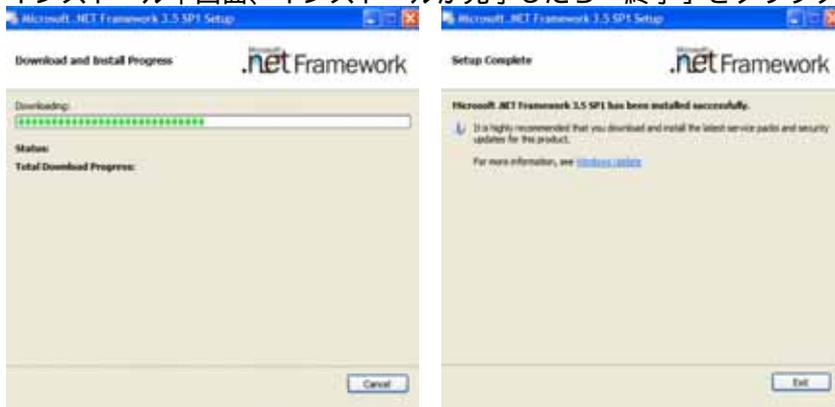
インストール中画面、完了後に「完了 Finish」をクリック。



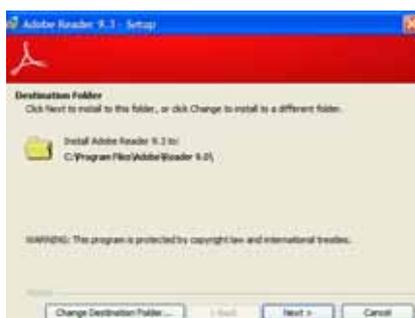
- 7.この画面が表示されたら上部の「I have read and ACCEPT 規約を読みました承」にチェックを入れ、「インストール」をクリック。Microsoft Net Framework3.5がインストールされます。
この画面は表示されない場合があります。



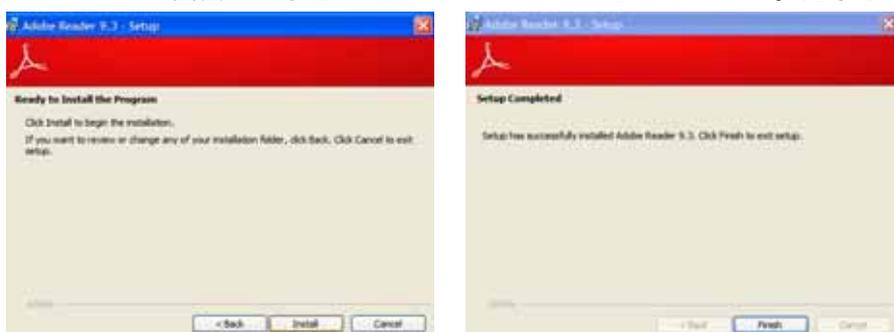
インストール中画面、インストールが完了したら「終了」をクリック。



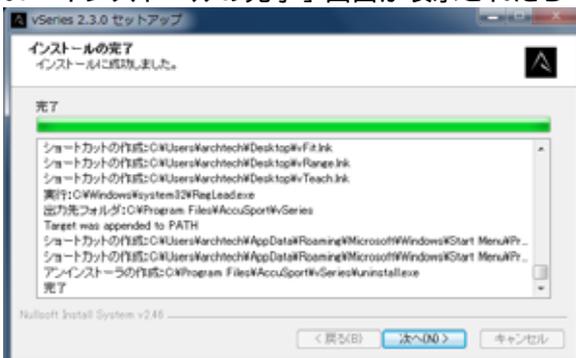
- 8.この画面が表示されたら「次へ」をクリック。Adobe Reader がインストールされます。
この画面は表示されない場合があります。



インストール画面が表示されたら「インストール」をクリック。完了したら「終了」をクリック。



9. 「インストールの完了」画面が表示されたら「次へ」をクリック。



10. 「vSeries セットアップウィザードは完了しました」の画面が表示されたら「完了」をクリック。



ライセンスキーのインストール

VSeries のライセンスキーはコンピュータの CD ドライブに CD-ROM を挿入すると、自動的にインストールが開始されます。インストールが開始されると「続行するには何かキーを押してください」が表示されますので、Enter キー等を押してください。ライセンスキーのインストールは完了です。

もし自動的にインストールが開始しない場合には、以下の手順に従って手動でライセンスキーをインストールしてください。

手動でのインストール方法：

- 1、「ライセンスキー」と表示された CD-ROM ディスクを CD ドライブに挿入します。
- 2、スタートメニューからマイコンピュータを選択します。
- 3、CD ドライブをダブルクリックしてください。(通常 D :)
- 4、「Install.bat」ファイルの上をダブルクリックします。
- 5、「続行するには何かキーを押してください」のメッセージが表示されますので、Enter キー等を押してください。
- 6、VSeries ソフトウェアアプリケーションを開いてください。つづいて 15 ページおよび 19 ページの「ソフトウェアの起動と AccuVectorX の接続」を参照ください。

データベースをインポートする

VSeries ソフトウェアを初めて開くと、すでにインストール済みのソフトウェアの旧バージョンからデータベースをインポートするよう指示が表示されます。

* ソフトウェアの旧バージョンをインストールしていない場合は、終了 (Exit) をクリックしてください。



ソフトウェアの旧バージョンをインストール済みの場合は、対応するボックスにチェックを入れて**インポート (Import)** をクリックします。ソフトウェアは、インストールしている新しいソフトウェアのアクセス用データベースを自動的にレンドリングします。

ソフトウェアの起動と AccuVectorX の接続

* 初めに、AccuVectorX とコンピュータの電源が「OFF」になっていることを確認ください*

- 1) イーサネットケーブル(クロスケーブル)を介して AccuVectorX をコンピュータに接続します。
- 2) コンピュータと AccuVectorX の電源を入れる。
- 3) AccuVectorX の画面で「次へ」を押す、そして「VSeries を起動」を選択します。
- 4) コンピュータの VFit 、VTeach 、VRange  のアイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動してください。
- 5) VFit のソフトウェア画面で、「設定」「アキュベクターの選択」「AccuVectorX」を選択してください。別画面が立ち上がり IP アドレスの入力欄が表示されます。
- 6)



IP アドレスが AccuVectorX の画面に記載されています。この IP アドレスを VFit の IP アドレス欄に入力してください。もし、違う IP アドレスが表示されている場合には AccuVectorX の IP アドレスに合わせて入力してください。



- 7) 「VX に接続」をクリックする。



- 8) 画面の左側に「ユニット接続」が表示されていれば接続完了です。「閉じる」をクリックしてください。ソフトウェアの左上隅の AccuSport ロゴが緑色に変わり接続されていることを表しています。ソフトウェアを使用する準備が完了です。



* 画面の左側に「VX と接続ができませんでした」の表示がされた場合には、コンピュータと AccuVectorX の電源を切り、ステップ 1 からやり直してください。

ご使用前に

バッテリーを充電する

バッテリーを充電するには、電源アダプタを AccuVectorX に差し込んでください。AccuVectorX の電源を入れ、一晩または少なくとも 6 時間充電してください。完全充電されたバッテリーを使用する場合には、電源アダプタは必要ではありません (約 1.5 時間の使用可能です)。バッテリーが充電されていない場合、または長期間 AccuVectorX を使用していない場合には、バッテリーの充電を行ってください。

ボールのマーキング

VSeries ソフトウェアは、ゴルフボールの黒いマークを使って、スピンを計測します。打球位置にボールをセットする際に、このマークを 本体カメラレンズに向ける必要があります。これ以外のマークは、カメラに写らないようにします。自分でマークを付ける場合は、白いボールの表面の余白に黒いマジックを使ってマーキングしてください。



ロゴを使う方法 - 現在販売されているゴルフボールのほとんどは、写真のような直線タイプのマークが付いています。あるいは、下のようなストライプ状のマークを使用することもできます。



ストライプマークを使う方法 - ボール表面の余白に、最低長さ 1 インチ (2.54 cm)、1/8 インチ (約 3 ミリ) 幅の黒いストライプを 1 本描きます。このマークは、カメラレンズの方に向けた時にはっきり分かる、完全な直線でなくてはなりません。ゴルフ業界でよく利用されているさまざまなゴルフボールマーキングキットで描いた直線を、VSeries ソフトウェアでご使用いただけます。

]

ソフトウェアの機能

注：Vrange を動作させるには、Vfit および Vteach を起動させておく必要があります。

ユーザーインターフェースの説明

セッション、パフォーマンス、打球測定、弾道情報、プレーヤデータを各ソフトウェアのモジュールと同様の方法で表示します。ここでは、ソフトウェアの上左隅から画面を時計回りに、この情報とツールバーメニューオプションについて説明します。



ビデオカメラの接続： 上左隅のカメラのアイコンは、デジタルビデオカメラが接続されて認識すると、黒色から緑色に変わります。



AccuVectorXの接続： 上左隅の AccuSport のロゴは、AccuVectorX が接続されて認識すると、黒色から緑色に変わります。

ファイル 設定 弾道観測 ヘルプ

ツールバー： ソフトウェアの機能選択、環境設定、設定の変更等の使い方については、24ページの説明をご覧ください。



測定データの消去： 画面上のすべてのショットデータを消去します。



打球弾道解析： 画面上部に、「キャリー」、「左右ブレ」、「総距離」が表示されます。白い数字は、最新ショットのデータを示しています。金色の数字は、その項目のショットの平均値を示しています。

総距離には、キャリーとランが含まれます。方向 (左右ブレ) は、右が「R」、左が「L」で表されます。



フルスクリーンモード： VRange は、フルスクリーンモードでレンジを開くため、リアルなシミュレーションを体験していただけます。VTeach は、ビデオキャプチャウィンドウをフルスクリーンモードで開くため、表示状態が改善されます。VFit には、このボタンの機能はありません。



最小化: ソフトウェアの画面を最小化します (タスクバーに収めます)。



最大化: ソフトウェアの画面を最大化します。



閉じる: ソフトウェアを閉じます。



トリガー遅延設定の切り替え: 注AccuVectorXではこの機能は動作しません。



スコア: 本ソフトウェアは、各ショットのすべてのパラメーターに基づいて、そのショットを0~100点の範囲で採点します。

ローンチダイヤル

ソフトウェア下部にあるローンチダイヤルには、各ショットのローンチデータ情報が表示されます。



ボールスピード: マイル/時 (MPH)、フィート/秒 (FPS)、キロメートル/時 (km/h)、メートル/秒 (m/s) で計測します。単位を変更するには、「設定」>「初期設定項目」をクリックします。



ヘッドスピード: マイル/時 (MPH)、フィート/秒 (FPS)、キロメートル/時 (km/h)、メートル/秒 (m/s) で計測します。単位を変更するには、「設定」>「初期設定項目」をクリックします。



打出角度 角度で表示します。



降下角度: 弾道の頂点から降りる時の地面に対するゴルフボールの角度を算出します。



バックスピン: RPM で表示します。

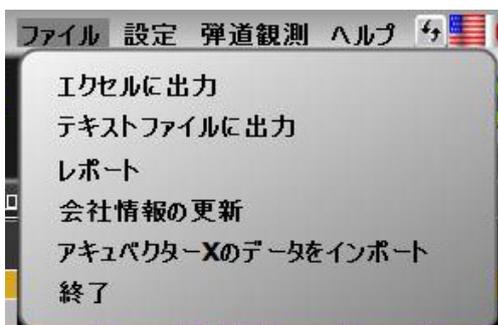


サイドスピン: 数字の下のラベルは、ドロー/フック、フェード/スライス、またはセンターを表します。RPM で表示します。



打出方向: 数字の下のラベルは、プッシュ、プル、センターを表します。角度で表示します。

ファイル



エクセルに出力: ご使用のコンピュータにマイクロソフトのエクセルが入っている場合は、「オプションメニュー」の「エクセルに出力」をクリックして、テキストをエクセルのワークシートにエクスポートします。

テキストファイルに出力: 「テキストに出力」アイコンをクリックして、ショットデータをテキストファイルにエクスポートできます。



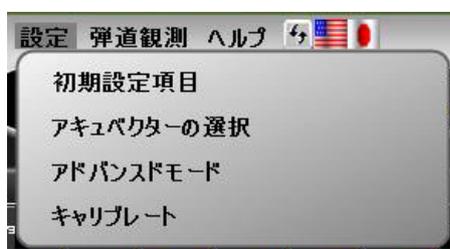
レポート: 計測データの印刷可能版を生成します。全ショットを確認する「フルレポート」と、平均的項目のみ確認する「平均レポート」から選べます。また、メモを追加して、印刷可能版に表示できます。

会社情報の更新: 企業情報を更新して、レポートをパーソナライズできます。この情報は、すべての印刷レポートに記載されます。

AccuVectorX データをインポート: フラッシュドライブに保存された VectorX データをインポートします。*AccuVectorPro には適用されません。

終了する: ソフトウェアを閉じます。

設定



初期設定項目:



「天候」: 設置場所の状況を設定する。

「風向」設定:

- ・アゲインスト (向かい風) 時は 0 度。
- ・フォロー (追い風) 時は 180 度に設定。
- ・風が右から吹く場合は 90 度、左から吹く場合は 270 度になります。

「初期設定値」: 天候ボックスの値を初期設定に戻します。

注: 天候の項目を設定する時は、最初に単位「メートル」を選択後、各天候項目を設定する。ヤードで使用する場合にはその後単位を「ヤード」に変更すれば天候項目も自動的にヤードに変更されます。

「ショット品質」:

・この項目に**チェックを入れる**: ソフトウェアがショットを正確に分析できない場合は、画像に何か問題があることがほとんどです。その場合はショットデータが作成されず、画像ウィンドウに「分析終了」と表示されます。

・この項目の**チェックを外す**: ショットを打つたびに、画像の正確な分析が不可能な場合でもソフトウェアにデータを表示させることができます。この設定により、ソフトウェアの処理済みショットを必要とせずに、VTeach にビデオを録画できるようになります。録画オプションについての詳細は、39 ページをご覧ください。

「パフォーマンス」: ボール速度に対する弾道効率に基づいて、各ショットを0~100点の範囲で採点します。パフォーマンスは、ローンチデータの実測された変数すべてを考慮に入れます。

「ミート率」: クラブの速度に対するボール速度の指数として表される、古典的なスコア計算法です。打球の弾道を測定する際に、速度が唯一の情報だった時に使われたものです。PTIの数値は、通常1.4~1.5の範囲内です。

・色分け: 「標準」: ショットのプロフィールおよびVRangeソフトウェアの初期設定で、すべてのショットを白でプロットします。

「クラブのグループ化」を選択すると、各項目を比較しやすくするために、追加される各新規項目に新しい色が自動的に割り当てられます。

「警告表示」: このボックスがチェックされている場合、プレーヤのセッションが未設定だと、第1ショットを打った後で「セッションは保存されません」という警告が表示されます。プレーヤのセッションを設定してデータを自動保存する必要がない場合は、OKをクリックして、続けてください。

アキュベクターの選択: ソフトウェアと連動してどちらのユニットを使用するかに応じて、AccuVectorProまたはAccuVectorXを選択します。

アドバンスドモード: AccuVectorXに接続画面を表示します。

キャリブレーション: (AccuVectorXでは使用せず。グレースアウト)

弾道観測：



弾道曲線: 「単独表示」を選択すると、1回に1ショットのみショットプロフィールとVRangeにプロット

されます。このショットは最後の打球か、ショット履歴ウィンドウでその時点で選択されているショットです。

「全てを表示」を選択すると、各ショットがプロットされます。最後の打球 (またはその時点で選択されているショット) は明るく表示され、そのほかはすべて透けて表示されます。

*VRange ソフトウェアは、ビューメニューオプションは異なります。詳しくは40ページを参照してください。

ヘルプ：



「AccuVectorPro」「AccuVector X」のユーザーガイド (PDF) を開く。

「vFit バージョン情報」：ソフトウェアのバージョンを表示する。

プレーヤのデータベースを管理する



プレーヤを選択する: 新しいプレーヤの情報を入力する、または既存プレーヤの保存データにアクセスする場合、プレーヤの左にある矢印をクリックしてデータベースを開きます。



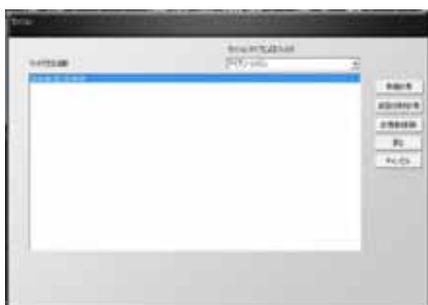
1) 「新規プレーヤ」または「既存プレーヤ」を選択します。



2a) 新規プレーヤの場合: 「新規プレーヤ」をクリックして、名前と連絡先を入力します。「次へ」をクリックして、アクティビティ情報の入力に進みます。



2b) 既存プレーヤの場合: リストからプレーヤを選択します。リストに掲載されているプレーヤが見つからない場合は、プレーヤの姓か名を入力して「検索」をクリックします。選択したいプレーヤをクリックして、「次へ」をクリックします。



前回のセッションを継続または表示するには、「計測を継続」をクリックします。これで、セッションに直接進めます。新セッションを開始したい場合は、「新しい計測を開始」をクリックして、カテゴリ情報の入力を進めます。



3) カテゴリを選択する: カテゴリリストから選択するか、または自分自身のカテゴリを作成します。こうすることで、今後過去の計測値を表示した際に、計測値内容を識別できるようになります。



4) **アイテムを選択する:** 選択されたカテゴリに従って、項目の詳細なリストが表示されます。「**新規作成**」をクリックすると、新規項目の追加もできます。項目にはクラブ、ヘッド、シャフト、ボールなどがあり、セッションを通して識別子となります。

5) 「**次へ**」をクリックしてウィンドウを閉じ、計測を開始します。プレイヤー名、項目、カテゴリが画面下のプレイヤー情報バーに表示されていることを確かめてください。

▲ アイテム Driver 2

項目を選択する: 計測中、各項目の比較が必要になる場合があります。項目の矢印をクリックして、次に比較したい項目を選択します。項目を選択したら、「**次へ**」をクリックします。すると、選択した項目の新たな平均ラインは次のショットから開始されます。

カテゴリの選択 Driver Lesson

カテゴリの選択: プレーのセットアッププロセス中に、選択したカテゴリを表示します。割り当てられた特定のカテゴリのセッションが、一旦開始されると、選択したカテゴリを変更できません。

****一旦、プレイヤーおよびカテゴリ項目が指定されると、そのセッション内のすべての打球が自動保存されるようになります。**

セットアップ

ボールのポジショニング



セットアップテンプレートを使用して、正しいポジションでボールをティーに載せます。セットアップテンプレートを使用しない場合、35ページのセットアップイラストを見て、ゴルファーのポジションと打球ゾーンを把握してください。

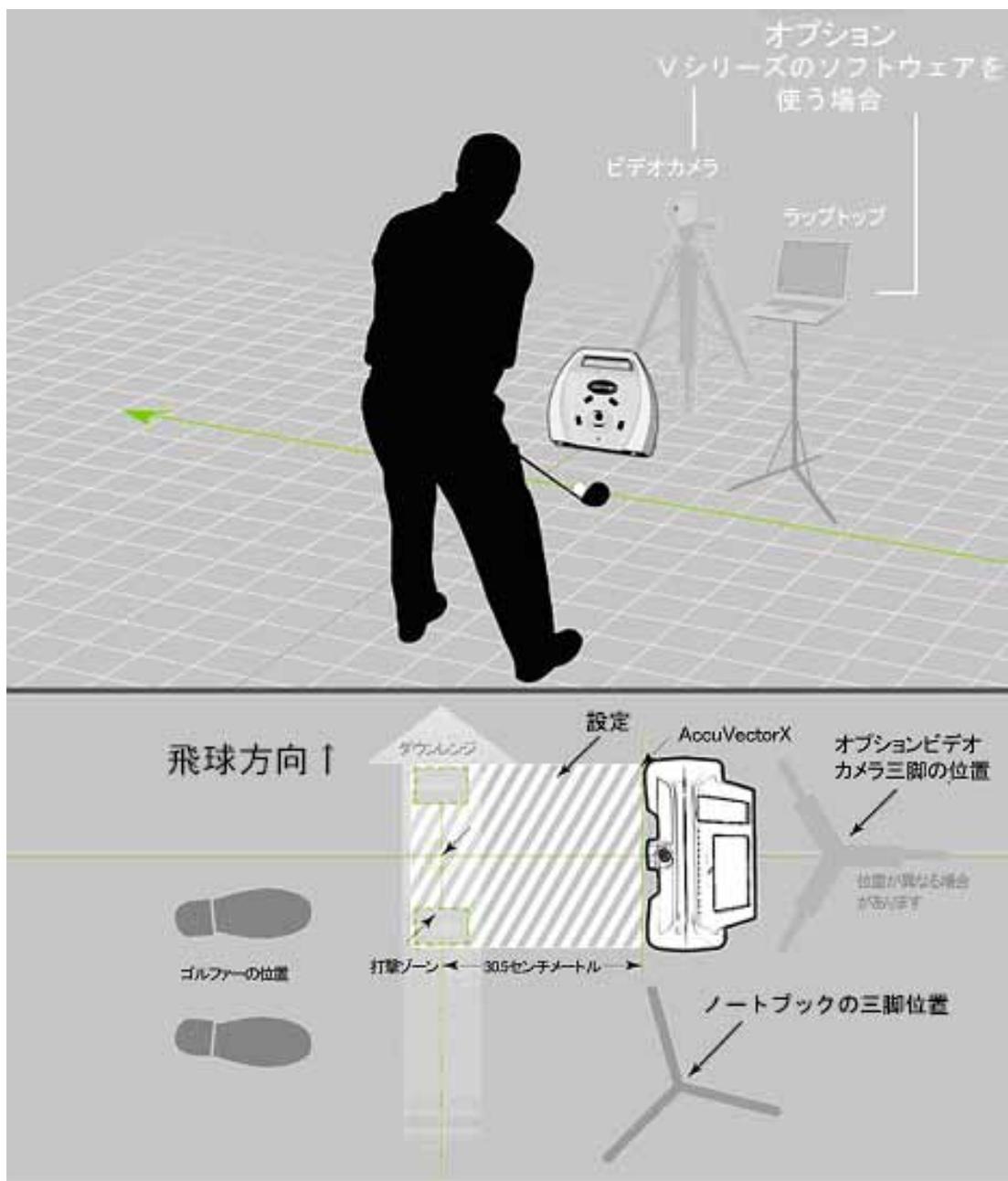
右利きゴルファーは、右ティーゾーンのティーにボールを載せてください。

左利きのゴルファーは、左ティーゾーンのティーにボールを載せてください。

***注：ショットを打つ時には、セットアップテンプレートを外してください。**

AccuVectorX、ノート型 PC、ビデオカメラのポジショニング

図は、右利きゴルファーのポジショニングを示しています。



第1ショットを打つ

ボールを打った後、画面右隅の画像を確認します。打球弾道パラメーターを正確に測定するために、本ソフトウェアでは、画像ウィンドウに完全なゴルフボールが2球表示されている必要があります。明瞭なボール画像が表示されていない場合、または「分析終了 (Analysis Terminated)」のメッセージが表示された場合は、撮影されたボールの画像を確認ください。各ボールのマークと、ボールの凹凸が識別できる明瞭な画像でなくてはなりません。また、ボールの輪郭が、ぼやけたり画面の端で切れていたりすることなく、完全に表示されている必要があります。トラブルシューティングについては、48 ページを参照してください。

測定データ履歴

ドライバー	ショット	球種	バックスピンの速度	サイドスピンの速度	打ち出し角	打ち出し方向	打ち出し距離	打ち出し高さ	打ち出し角度	打ち出し方向	打ち出し距離	打ち出し高さ	打ち出し角度	打ち出し方向	打ち出し距離	打ち出し高さ	打ち出し角度	打ち出し方向
Driver1		黄色	89.67	142	101	13.1	4,605	-1,061	-0.9	221	22	229	7	-42.4	32	4,750	6.8	No
Driver1	1	白色	84	144	102	14.8	4,807	-512	-1.5	224	9	232	8	-44.6	38	4,868	7.2	No
Driver1	2	白色	82	144	101	12.6	4,272	-1,044	-1.4	226	22	234	9	-40.7	31	4,403	6.7	No
Driver1	3	白色	76	141	101	12.0	4,736	-1,528	0.2	213	34	218	5	-42.0	29	4,977	6.4	No
Driver2		黄色	88.00	141	98	14.4	3,842	-575	-4.5	228	-2	239	11	-39.6	33	3,940	6.9	No
Driver2	1	ライム	91	141	98	16.1	3,818	-906	-5.3	229	4	239	11	-42.1	36	3,993	7.1	No
Driver2	2	ライム	89	142	98	12.7	3,869	-244	-3.6	228	-8	239	11	-37.2	29	3,888	6.6	No

測定データ履歴では、各グループの黄色の行内に、データを項目別にグループ分けし、まとめます。項目欄の+/- ボックスをクリックしてデータを折りたたみ、各項目の平均値の行のみを表示します。

個別またはアイテムの平均値をプロットするには、測定データ履歴の特定のショットや平均値の項目をクリックし、「プロット」（色表示）部分をクリックする。別ウインドウが表示されるので色を選択し、「弾道」画面で確認ができます。

測定データ履歴のショットを削除する：行を選択して右クリックし、次に「ショットを削除する (delete shot)」をクリックします。

平均値のみを表示：簡単に比較するため、各平均値下の個別ショットを折りたたみます。



表を展開する：このアイコンをクリックして、測定データ履歴のビューを展開表示します。

分析（画面中央右側）

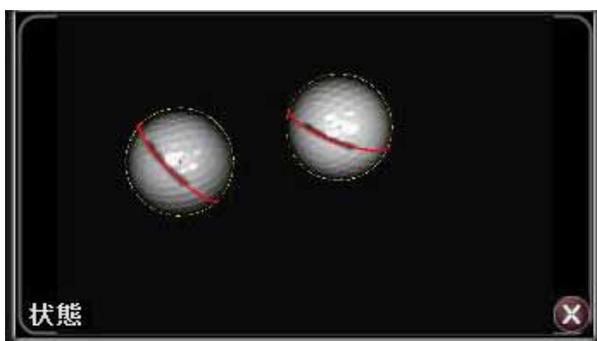
ボールスピード	144	バックスピン	4272	バックスピンの速度	82
打ち出し角	12.6	サイドスピンの速度	-1044	打ち出し方向	左
打ち出し方向	-1.4	打ち出し高さ	-41	打ち出し距離	226
打ち出し距離	226	打ち出し高さ	22右	打ち出し角度	234

分析画面により、ショットを比較するためのさまざまなローンチ情報を入力できます。ローンチ情報は、ほかのショットとの修正、分析、比較が可能です。速度、スピン、ローンチアングル、サイドスピン、サイドアングル

といったローンチコンディションの仮定値を入力したら、「分析」をクリックして更新します。

*本ソフトウェアは、打球後に右利きか左利きかを自動検出します。打球なしで「分析」機能を利用する場合は、データとプロットを補正するために右利きまたは左利きを指定する必要があります。

画像ウィンドウ



画像ウィンドウは、ソフトウェアの右下隅に位置しており、カメラで撮影したボールの合成画像を表示しています。VectorX Launch Systemでは、スピンを測定するため、ゴルフボールに黒い線を付ける必要があります。ソフトウェアでは、この黒い線を赤色で表示し、ショットが正しく記録されたか検証します。

*ソフトウェアが黒い線を誤って読み込んだ場合、正しい黒い線の両端を1回クリックすると、ボールのマークを付け直せます。ショット録画に関するトラブルシューティングをサポートするため、エラーメッセージもこのウィンドウに表示されます。最終ショットを削除したい場合は、下右隅の  「ショットを削除」ボタンをクリックします。

ショット分析

距離	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155
2500	220	223	225	226	226	226	226	226	226	226	226	226	226
2750	222	225	227	229	231	232	232	232	232	232	232	232	232
3000	224	226	228	230	232	234	235	235	235	235	235	235	235
3250	225	227	229	231	232	234	235	235	235	235	235	235	235
3500	226	228	229	231	232	234	235	235	235	235	235	235	235
3750	226	228	229	231	232	234	235	235	235	235	235	235	235
4000	226	227	228	229	230	231	231	231	231	231	231	231	231
4250	224	225	226	227	228	229	229	229	229	229	229	229	229
4500	223	224	224	225	226	226	227	227	227	227	227	227	227
4750	221	222	222	223	223	224	224	224	225	225	225	225	225
5000	219	220	220	221	221	221	222	222	222	222	222	222	222
5250	217	217	218	218	219	219	219	219	219	219	219	219	219
5500	215	215	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216
5750	213	213	213	214	214	214	214	214	214	214	214	213	213
6000	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211

画面中央の分析 とラベルの付いたタブをクリックします。この表には、算出されたさまざまなローンチアングルとバックspinコンディションを表示します。黄色のボックスには、最初のローンチコンディションで達した距離を表示します。

周囲のセルには、各種ローンチアングルの距離とspin速度の組み合わせを表示します。ボックスが黒の場合、距離の増減はありません。赤は距離の減少を示し、緑は距離の増加を示しています。

ショット弾道



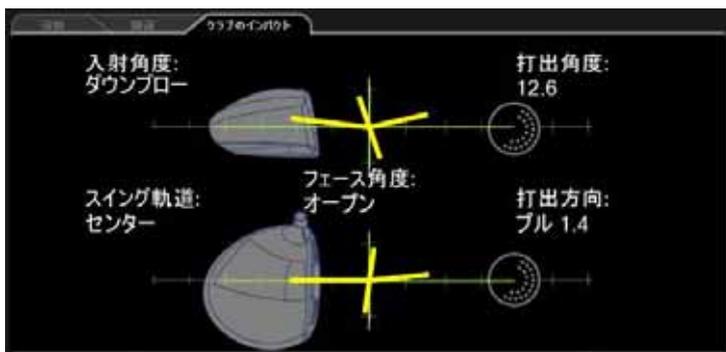
「弾道」とラベルの付いたタブをクリックします。上右にある対応するトグルを選択して、「サイドビュー」か「トップビュー」のいずれかを表示できます。

弾道観測: 「全てを表示」を選択して、セッション中の各ショットのトレーサを表示するか、または「単独表示」を選択して、最新ショットのみを表示します。プロットの色は、「環境設定」のトレーサの色で「標準 (すべて白)」または「クラブグループ化 (項目ごとに色を自動割り当て)」を設定できます。また、いつでも手動で、測定データ履歴表のプロットの色を割り当てることができます。

***最新打球または選択中の打球は、プロットされているショットの中で常に最も明るく表示されます。**

ローンチデータは、「分析」プロット用に修正できます。仮ショットのプロット (白で表示) を確認するには、「分析」分析ウィンドウの値を変更して、次に「分析」をクリックします。

クラブのインパクト



「クラブのインパクト」とラベルの付いたタブをクリックします。このタブは、アタックの角度、スイング経路を表示し、インパクト時にフェースが開いているか、閉じているかを示します。

VTeach ソフトウェア

本セクションでは、VTeach モジュール専用ソフトウェア機能について説明します。

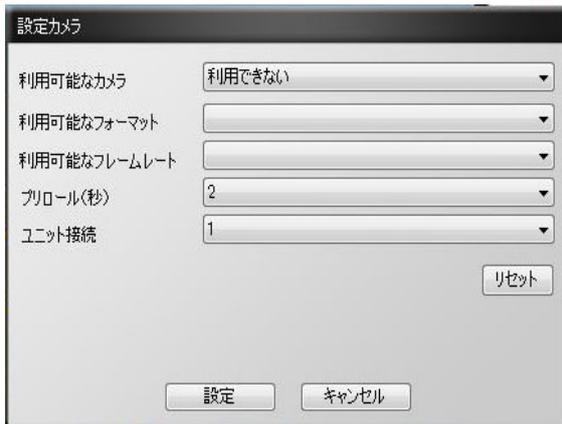


ソフトウェアの設定、ソフトウェアの機能、プレーヤ情報管理に関する一般的な情報については、13～27 ページを参照してください。

ビデオカメラの選択

ビデオカメラをご利用になりたい場合は、VTeach ソフトウェアのカメラの選択とセットアップの各ステップに従ってください。

1. ビデオカメラとコンピュータの電源をオンにします。
2. カメラをコンピュータに接続します。
3. ご使用のコンピュータのデスクトップにある VTeach のアイコンをダブルクリックして、VTeach ソフトウェアを起動します。



4. 「設定」から「カメラ設定」を選択しウィンドウが表示されたら、カメラのドロップダウンをクリックして、カメラを選択します。ご使用のカメラで可能であれば、フォーマットの変更 (720x480 以内) とフレーム率の調整ができます。また、プリロール (インパクト前の連続ビデオ画像) と、ポストロール (インパクト後の連続ビデオ画像) を変更するオプションも使用できます。*ビデオカメラをご使用にならない場合は、「キャンセル」をクリックします。

5. 「設定」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、ソフトウェアの使用を開始します。

*ビデオカメラが接続されると、VTeach ソフトウェアの上左隅のカメラアイコンが緑色に光ります。カメラが接続されていない場合は、黒色です。

ビデオ撮影

ライブビデオ: ライブビューを見て、カメラのセットアップとポジショニングに役立てるには、ビデオウィンドウ上部の「ライブビデオ」をクリックします。

ビデオ撮影: ビデオでは一連のショットにより撮影されます。1ショットが連続しない場合は、「分析終了 (Analysis Terminated)」と画像ウィンドウに表示され、ビデオは撮影されません。

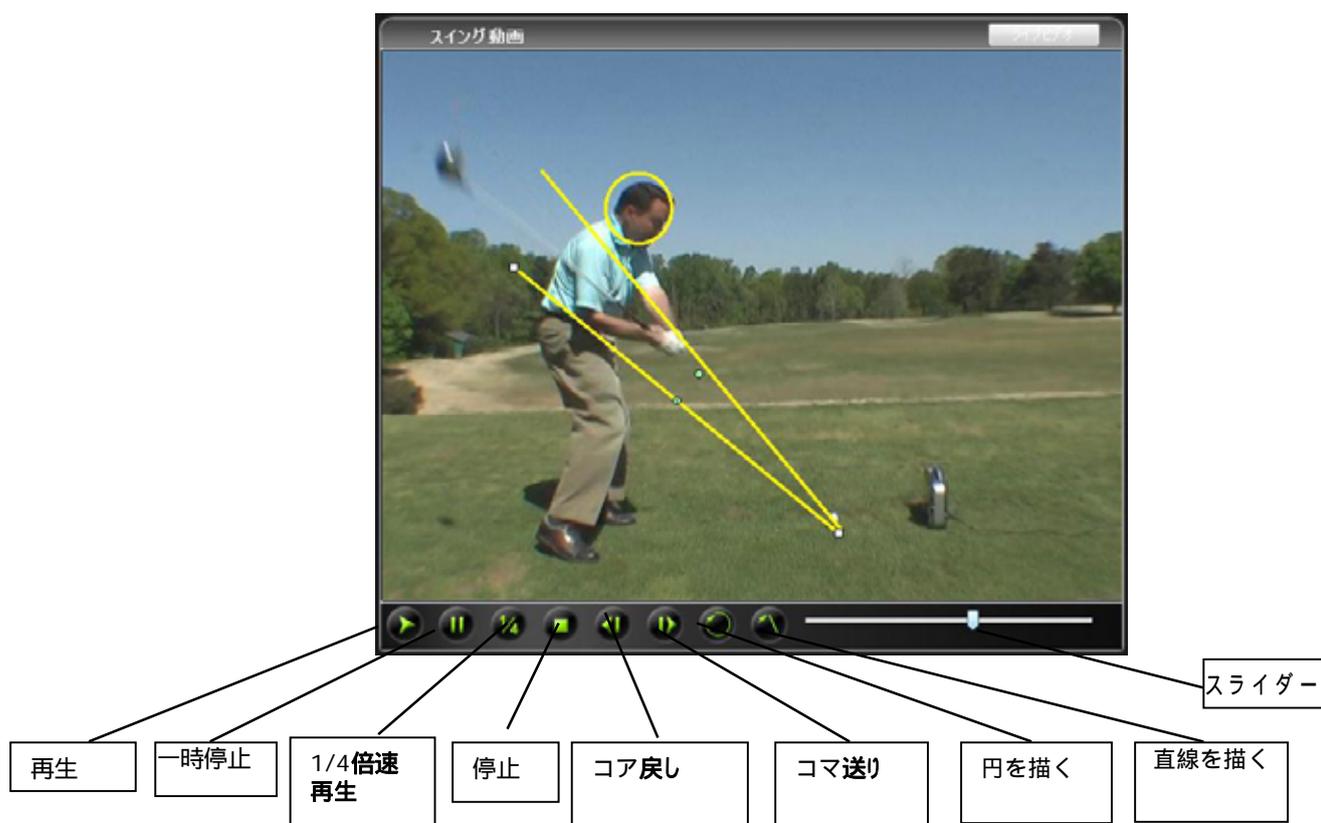
ビデオのみ

連続ショットなしでビデオを撮影するには、「設定」から「初期設定項目」をクリックします。分析終了を許可の横のボックスのチェックを外します。ショット履歴表にショットを表示して、撮影したビデオから選択できます。ただし、ショットデータは収録されません。ビデオカメラを作動させるには、以下のいずれかの方法を使用します。

- 1) AccuVectorX ユニットを使用して、ビデオカメラを作動させます。ショットデータは記録されません。そのため、インパクト音でマイクが作動する限り、正しい打球の位置にいる必要はありません。

プレーヤがボールを打つ音でカメラを作動させる様にするには、キーボードの Alt+T を押します。スイング全体を確実に撮影するには、「プレロール (PreRoll)」、「ポストロール (PostRoll)」をバッファーとしてそれぞれ 3 秒に設定することをお勧めします。

スイングビデオ画像



スイングビデオナビゲーション

「再生/一時停止」、「停止」、「1/4倍速再生」、「コマ送り/コア戻し」を行うには、ビデオナビゲーションボタンを使います。特定の場所でビデオを先送り、巻き戻し、一時停止させたりするには、スライドビデオウィンドウ下部のスライダーをクリックしてドラッグします。

画面上の注釈

描画ツールを使用してスイングビデオに注釈を付けるには、注釈を付けたい場面でビデオを一時停止します。



直線を描くには、**ラインツール**をクリックして、次にビデオ画像上でポインターをクリック&ドラッグします。



円を描くには、**ラインツール**をクリックして、次にビデオ画像上でポインターをクリック&ドラッグします。

*描いた線や円を修正、削除するには、その線や円の上で右クリックします。

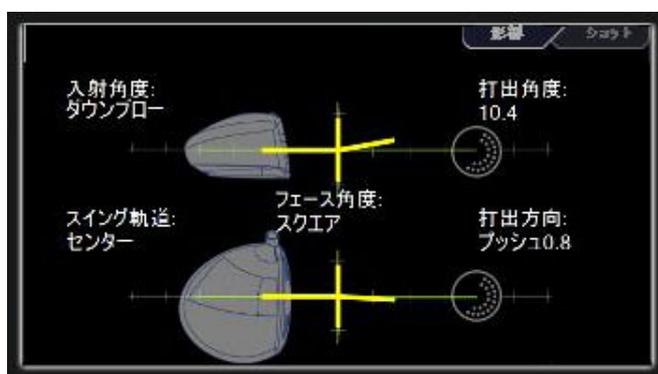
測定データ履歴

アイテム	ショット	プロット	パフォーマンス	ボールスピード	ヘッドスピード	打出角
Driver 1			74.67	141	97	
Driver 1	1	白色	68	145	99	
Driver 1	2	白色	78	139	97	
Driver 1	3	白色	78	140	96	
Driver 2			84.00	141	98	1
Driver 2	1	ライム	82	140	97	
Driver 2	2	ライム	86	143	98	1

「測定データ履歴」表で、セッションのショットを表示・選択できます。スイングビデオ付きショットは、ビデオの列が「有 (Yes)」となっています。

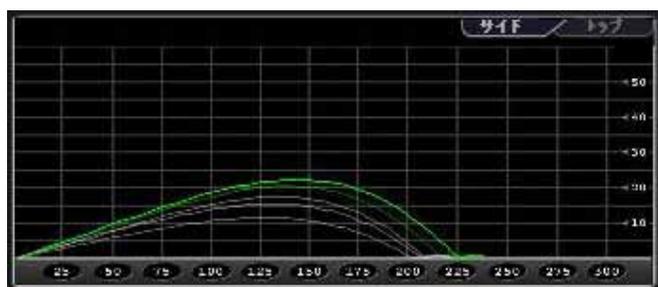
*黄色い矢印をクリックすると、この表をショットプロファイル上に展開できます。

クラブのインパクト



「クラブのインパクト」ウィンドウでは、クラブの入射角度と、スイング軌道を表示し、インパクト時にフェースが開いているか、閉じているかを示します。

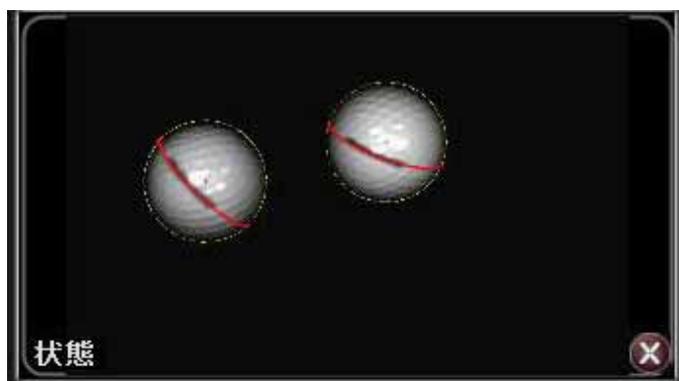
弾道



弾道のトップビューやサイドビューを、測定済みボールローンチ情報と AccuSport 社の業界最高の弾道モデルに基づいて表示します。

*ショット弾道の詳細な表示については、35 ページを参照してください。

画像ウィンドウ



画像ウィンドウは、ソフトウェアの下右隅に位置しており、カメラで撮影したボールの合成画像を表示します。AccuVectorX Launch System では、スピンを測定するため、ゴルフボールに黒い線を付ける必要があります。ソフトウェアでは、この黒い線を赤色で表示し、ショットが正しく記録されたか検証します。

*ソフトウェアが黒い線を誤って読み込んだ場合、正しいマークの両端を1回クリックすると、ボールのマークを付け直せます。ショット録画に関するトラブルシューティングに役立つよう、エラーメッセージもこのウィンドウに表示されます。最終ショットを削除したい場合は、下右隅の  「ショットを削除」ボタンをクリックします。

VRANGE ソフトウェア

本セクションでは、VRange ソフトウェアの機能について説明します。VRange ソフトウェアには固有のシリアル番号が付いており、評価期間を超えてプログラムをご利用になるにはライセンスキーが必要です。VRange は、VSeries ソフトウェアの別売ソフトウェアとなっています。VRange は、105ヤード、155ヤード、225ヤード、325ヤードという4種類のレンジ/ホールビューで表示可能です。

ソフトウェアの設定、ソフトウェアの機能、プレーヤ情報管理、キャリブレーションに関する一般的な情報については、13～30ページを参照してください。



拡張可能ウィンドウ

拡張ウィンドウ タブ: 緑色矢印をクリックして、「測定データ履歴」、「イメージビュー」、「分析」、「トップビュー」、「サイドビュー」の各ウィンドウを表示します。



ビューメニューオプション (VRange のみ)



「弾道観測」を選択して、「距離」、「アスペクト」、「効果」、「トレース線」、「弾道曲線」の環境設定に関するレンジオプションを表示します。

- 距離:** VRange では、105 ヤード、155 ヤード、225 ヤード、325 ヤードという 4 種類の距離のビューを利用できます。
- アスペクト:** 現在ご利用いただけるオプションは、センター アスペクトのみです。
- 効果:** レンジは、日中ビューまたは夕暮れビューで表示できます。
- トレース線:** ショットは、細線または太線で表示できます。
- 弾道曲線** 「全てを表示」を選択して、セッション中の各ショットのトレーサーを表示するか、または「単独表示」を選択して、最新ショットのみを表示します。プロットの色は、「環境設定」のトレーサーの色で「標準 (すべて白)」または「クラブグループ化 (項目ごとに色を自動割り当て)」を設定できます。また、いつでも手動で、弾道列の測定データ履歴表のプロットの色を割り当てることができます。

測定データ履歴

The screenshot shows a screen titled "測定データ履歴" (Measurement Data History) with a "リセットプロット" (Reset Plot) button and a "平均のみ" (Average Only) checkbox. The table below is visible:

アイテム	ショット	プロット	パフォーマンス	ボールスピード	ヘッドスピード	打点
クラブ名			84.00	148	103	
クラブ名	1	白色	84	147	102	
クラブ名	2	グリーン	89	147	103	
クラブ名	3	白色	79	148	105	

上左の緑色のタブを選択して、測定データ履歴表にアクセスします。

測定データ履歴では、データは、各項目の黄色の平均値の行にグループ分けされ、まとめられています。各項目の平均値の行のみを表示するには、項目欄の +/- ボックスをクリックしてデータを折りたたみます。

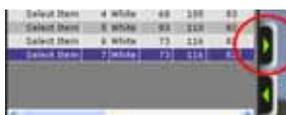
弾道 ビューまたは距離 ビューのプロットでは、個人のショットまたは項目の平均値を選択できます。項目をプロットするには、測定データ履歴の特定のショットや平均値のボックスをクリックし、当該項目をプロットするための色を選択します。トレーサーを、メインレンジビュー、トップビューとサイドビューで選択したプロット色に変更します。

測定データ履歴表のショットを削除するには、削除したい行の任意の場所を右クリックし、**ショットを削除 (delete shot)** をクリックします。



弾道プロットの色をリセットする: 「リセットプロット」をクリックすることで既定値の白色に戻ります。

平均のみ: このボックスにチェックを入れることで、各項目の平均値のみを表示します。



第2展開矢印をクリックして、「測定データ履歴」ウィンドウを展開し、全列を表示させます。展開されたビューでは矢印が左に向いています。この矢印をもう一度クリックすると、ウィンドウがコンパクトビューに戻って、レンジビューが見やすくなります。

画像



画像ウィンドウを表示するには、左側中央の緑色矢印を選択します。

画像ウィンドウは、カメラで撮影したボールの合成画像を表示します。本ソフトウェアは、ゴルフボールの黒い線を使って、スピンを測定します。また、この黒い線を赤色で表示し、ショットが正しく記録されたか検証します。ソフトウェアが黒

い線を誤って読み込んだ場合、黒い線の両端を1回クリックすると、ボールのマークを付け直せます。ショット録画に関するトラブルシューティングに役立つよう、エラーメッセージもこのウィンドウに表示されます。

分析

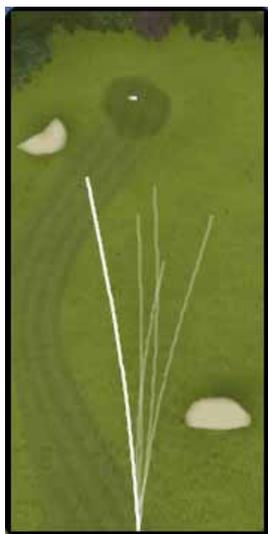


分析画面により、ショットを比較するためのさまざまなローンチ情報を入力できます。ローンチ情報は、ほかのショットとの修正、分析、比較が可能です。速度、スピン、ローンチアングル、サイドスピン、サイドア

ングルといったローンチコンディションの仮定値を入力したら、「分析」をクリックして更新します。

*本ソフトウェアは、打球後に右利きか左利きかを自動検出します。打球なしで「分析」機能を利用する場合は、データとプロットを補正するために右利きまたは左利きを指定する必要があります。

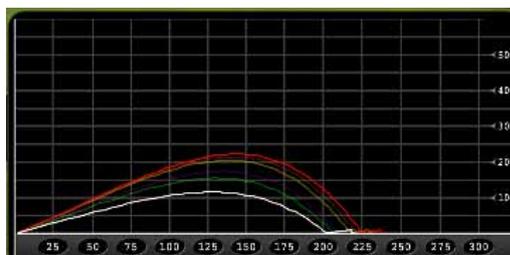
トップビュー



ショットプロファイルのトップビューを見るには、上右部の緑色タブを選択します。

色は、「環境設定」のトレーサーの色で設定できます。また、ソフトウェア内のさまざまなショットプロファイルを比較するには、「測定データ履歴」のプロットセルをクリックして1色選択します。

サイドビュー



ショットプロファイルのサイドビューを見るには、右下部の緑色タブを選択します。このタブは、打球弾道のトップビューやサイドビューを、測定済みボールローンチ情報と AccuSport 社の業界最高の弾道モデルに基づいて表示します。

*ショットプロファイルの詳細な表示については、35 ページを参照してください。

よくある質問

一般的な質問

AccuVectorX に関する質問の連絡先は？

- ・本機のご使用および不具合に関する問合せ窓口。
株式会社 GPRO カスタマーサポート
営業時間：月曜日～金曜日（土日祝日を除く） 午前9時～午後4時
TEL：06-6428-6777
FAX：06-6428-0071
E-mail：golf@gpronet.com
- ・製品の最新情報は、ウェブサイト www.xswinggolf.com をご覧ください。

AccuVectorX をコンピュータに接続するには、どうしたらいいですか？

AccuVectorX はイーサネットケーブルを介してコンピュータに接続します。また、スイングビデオの撮影には IEEE1394 ポートが最低1つ必要です。

*使用するイーサネットケーブルはクロスケーブルを使用してください。インターネット等に接続するための標準のストレートイーサネットケーブルでは正しく機能しないことがあります。

コンピュータにイーサネットポートがあるか、どうしたら分かりますか？

コンピュータの側面か後部をチェックしてください。イーサネットポートは、少し大きめの電話回線ジャックに似ています。すでにインターネットに接続されてポートが使用されている場合があります。その場合、同時にインターネットと VectorX を使用するのがお望みでしたら、ルータを追加する必要があります。

AccuVectorX はどのように働いていますか？

AccuVectorX はゴルフボールに当たるクラブの音によって始動します。カメラは打球画像を2枚撮影し、コンピュータに転送します。高度な画像解析ソフトウェアが2枚のボール画像のサイズ、回転、垂直方向、および距離を判断します。ソフトウェアは、この情報を元にボール速度、打出角度、バックスピン、サイドスピン、およびプッシュ/プルを正確に計測するとともに、クラブヘッドの速度と降下角を計算するのにこの情報を利用します。

AccuVectorX はアイアンを使えますか？

はい。ドライバーに加えて、アイアンも使用できます。AccuVectorX が、ヒッティングマットと同じ高さに置かれる必要があることにご留意ください。

AccuVectorX は、左利きプレイヤーに使えますか。

はい、ご使用いただけます。*本ソフトウェアは、右利きか左利きかを自動検出します。ユニットを反対側に置き直す必要がありますが、ソフトウェアの調整は不要です。

AccuVectorX は、Apple Mac で作動しますか。

いいえ、作動しません。AccuVectorX Launch System は、Windows XP Home、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows 7 オペレーティングシステムを実行する 32 ビットパーソナルコンピュータ上でのみ作動します。

クラブの速度の精度は、どの程度ですか。

AccuVectorX のクラブ速度の誤差は 2mph (0.89m/s) 以内です。これは、ボール速度、打出角度、バックスピン、サイドスピン、プッシュ/プルから算出されているもので、それらすべてはパラメーターを測定されています。

最適なローンチアングルとスピン率の表はありますか。

ゴルファーのスイングは個人により異なるため、表を印刷するには変数が多すぎます。ただし、個々のゴルファーの打球弾道の変化がもたらす影響を判断するため、VFit 分析画面の「分析」機能を使って、打出角度やスピン率などのさまざまなショット情報を入力できます。

AccuVectorX のご利用

ボールプレースメントはどれくらい重要ですか？

ボールプレースメントは非常に重要です。ボールが正しいヒッティングエリアに置かれていない場合、または本体から約 32cm + / - 3 cm 以内という規定の場所に置かれていない場合、ボール撮影や測定データに影響があります。セットアップテンプレートは、ヒッティング時のボールを置く位置を示しています。

バッテリーはどのように充電するのですか？

充電するには、電源アダプタを AccuVectorX に差し込んでください。AccuVectorX の電源を入りにして、一晩または少なくとも 6 時間充電してください。

環境設定は、打球弾道に大きく影響しますか。

高度や天候に関する環境設定は、打球弾道に影響を及ぼします。高度が高い場所では、海水位の場所に比べて、ボールが高く遠く飛びます。読み取り精度を最良にするために、使用する標高の状況に従って環境設定を設定してください。

ボールが風に向かって真っ直ぐ飛ぶ場合は、風の向きを 0 度に設定します。ボールが風下に飛ぶ場合は、180 度に設定します。風が右から吹く場合は 90 度、左から吹く場合は 270 度にします。

使用するゴルフボールの種類は重要ですか。

直線タイプのロゴや、お客様がボールに描いたラインをソフトウェアがはっきり読み取れるように、できるだけマーキングの少ない、白いボールのご使用をお勧めします。ボールには必ず正しいマーキングをしてください。(17 ページ) レンジボールや、弾道が制限されているボールは、弾道測定値に影響を及ぼします。

トラブルシューティング

AccuVectorX がソフトウェアに接続できない場合、どうすればいいですか

コンピュータと AccuvectorX の電源を OFF にしてください。16 ページの「ソフトウェアの起動と AccuVectorX の接続」を参照してセットアップを行ってください。

ボールのロゴや線が画像に写っていません。

ボールをティーアップする際、ロゴや線が AccuVectorXの正面に向いていることを確認してください。

ショット打つと、ソフトウェアはそれ以上撮影しません。

ご使用のコンピュータのプロセッサが高速で実行されていない可能性があります。または、コンピュータがスリープモードに入ろうとしていた可能性があります。ご使用のコンピュータが高速で実行されていることを、次のように確認してください。

1. Windows のスタートボタンをクリックします。
2. コントロールパネルを右クリックします。
3. パフォーマンスとメンテナンスをクリックします。
4. 電源オプションをダブルクリックします。(Windows のクラシック表示を使用している場合は、電源オプションアイコンを直接ダブルクリックします。)
5. 電源スキームのドロップダウンボックスから、「常時オン」、「適用」、「OK」を選択します。次に、コンピュータを再起動します。
6. 問題が解決しない場合は、カスタマーサポートへご連絡ください。

画面にボールの一部または全部が映っていない場合に表示されます。

1. AccuVectorX がマットと同じ高さであることを確認してください。
2. ボール画像が端で途切れる場合は、セットアップテンプレートでボールを正しくティーアップしているか、AccuVectorX から約 32 cm 離れているかを確認してください。

ドライバーのローンチデータは得られるのに、アイアンのデータが得られません。

1. AccuVectorX がマットと同じ高さに置かれていること、また、ボールをカメラより低い位置で打っていないことを確認してください。
2. ボール画像が画面の端で途切れる場合は、セットアップテンプレートでボールを正しくティーアップしているかを確認してください。
3. ボールを、ユニットから約 32 cm 離れたまま、AccuVectorX のレンズセンターラインの延長線上で少し近づけてティーアップしてください。

読み取りが異常または不正確です。

照明条件、不正なシステム環境設定、低バッテリーが原因の可能性があります。

1. ボールが正しくマーキングされていることを確認してください。また、ソフトウェアが、ボールの別の点や汚れではなく、正しいマークを読み取っていることを確認してください。
2. それでも問題が残る場合は、ソフトウェアのメニューバーの「設定 / 初期設定項目」をクリックして、風速、高度、気温の設定が正しいか確認してください。
3. バッテリーが低下している場合は、充電するか、電源アダプタを使用してください。

ボールのストライプが見えません。

ボールを AccuVectorX の前に置く際に、ボールのマーク（黒い線）が AccuVectorX の正面に向いていることを確認してください。

エラーメッセージ

撮像不良

このメッセージは、ボールストライクが正確に撮影されなかった場合に表示されます。ボール画像が画面上部で途切れる場合は、AccuVectorX がヒッティング面と同じ高さに置かれていることを確かめてください。または AccuVectorX を少し後ろに傾けてください。ボール画像が端で途切れる場合は、セットアップテンプレートでボールを正しくティーアップしているか、AccuVectorX から約 32 cm 離れているかを確認してください。

ボールが近すぎます

ボールを、AccuVectorX から約 30 cm以上離してください。ゴルフボールが AccuVectorX から約 32 cm 離してティーアップされていることを確認して、もう 1度打ってください。

ボールが遠すぎます

ボールを、AccuVectorX から約 45 cm 以上離さないでください。ゴルフボールが AccuVectorX から約 32 cm 離してティーアップされていることを確認して、もう 1度打ってください。

ボール速度が測定範囲外です

ボール速度が 21mph (約 9.4m/s) 未満か 235mph (約 105m/s) 以上のどちらかです。このメッセージは、不正確なボールのマーキングが原因で表示されることもあります。

打出角度を確かめてください

AccuVectorX環境設定が、右利きプレイヤーなのに左利きに誤設定されていないか、左利きプレイヤーなのに右利きに誤設定されていないかを確認してください。このメッセージは、ボールをトップすると表示されることがあります。

打出方向を確かめてください

打出方向が (+/- 12度) を超えています。

ボールの輪郭がぼやけています

ボール/ティープレースメントが正しくありません。同梱のテンプレートを使用して、AccuVectorX から所要の約 32 cm 先で、適切なヒッティングゾーン内から行われていることを確認してください。

低いプレーンです

ボールのマーキングが正しくない可能性があります。

マークが小さすぎます

AccuVectorX は、ボールのマークを読み取ります。まず、ボールをティーアップする際に、ロゴや線が AccuVectorXの正面に向いていることを確認してください。

ボールのマーキングが正しくなかったり、汚れていたりする場合、または、ロゴや線以外の大きなマークがボールに付いている場合は、マークを付け直すか、またはボールを取り替えてください。

ボールが見つかりません

このメッセージは、画像画面にボールの一部または全部が映っていない場合に表示されます。セットアップテンプレートを使って、ボールが AccuVectorX から所要の約 32 cm の位置にセットされていることを確認ください。

セットアップテンプレートを使って、ボールが適切なヒッティングエリアの中にティーアップされたことを確認してください。右利きプレイヤーの場合、AccuVectorX の右端の内側です。左利きプレイヤーの場合、AccuVectorX の左端の内側です。

プレーンがありません

ボールが正しくマーキングされていない可能性があります。または、ボールのロゴやマークを AccuVectorX の方に向けずにティーアップされている可能性があります。

付録

付録 A: フルレポート

ショットの概要

3ALL
Drew Lester

測定データ履歴

Player	Shot	Yards	Wind	Temp	Humidity	Pressure	Altitude	Speed	Direction	Spin	Launch	Angle	Spin	Rate	Spin	Rate	Spin	Rate	Spin	Rate
Driver 1	1	340	10	65	65	1013	300	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
Driver 1	2	340	10	65	65	1013	300	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
Driver 1	3	340	10	65	65	1013	300	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
Driver 2	1	340	10	65	65	1013	300	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
Driver 2	2	340	10	65	65	1013	300	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

Accusport
4111 Enterprise Drive Suite C, Winston-Salem, NC, 27106
電話 800.759.3300
ウェブサイト 800.759.3300
© Accusport
© Report@accusport.com

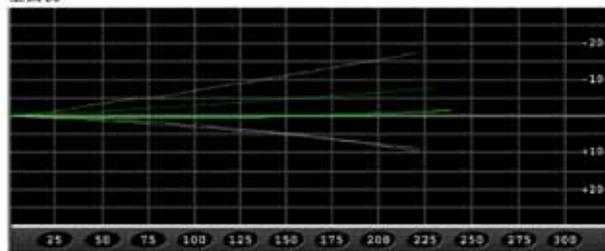


1 ページ: 展開したショット履歴 (Shot History) 表をすべて表示します。各項目の平均値の行と個別のショットを表示します。

ショットの概要

3ALL
Drew Lester

上面視

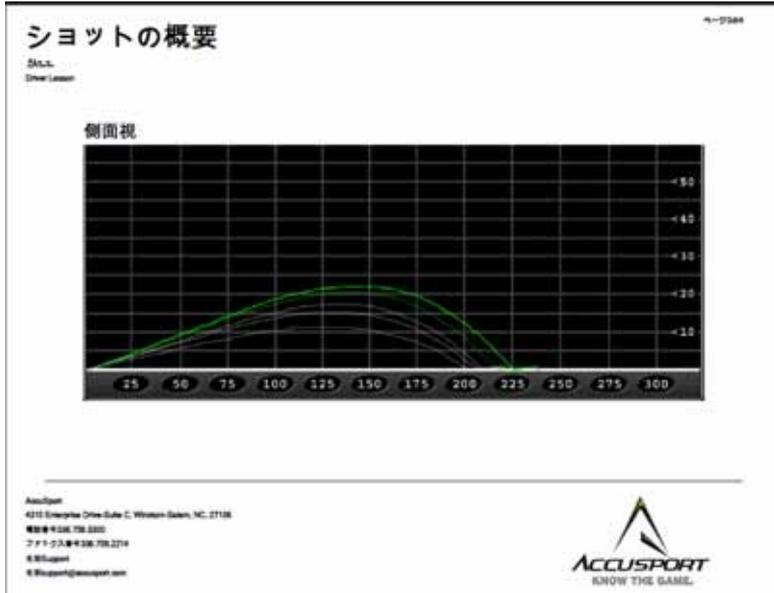


Accusport
4111 Enterprise Drive Suite C, Winston-Salem, NC, 27106
電話 800.759.3300
ウェブサイト 800.759.3300
© Accusport
© Report@accusport.com



2 ページ: トップダウンショットプロファイルを表示します。個別ショットはすべて、ショット履歴表で割り当てられたプロット色に合わせてプロットされます。

注: レポート生成前に、ショット履歴表でユーザーが色を手動で選択しない限り、平均値はプロットされません。

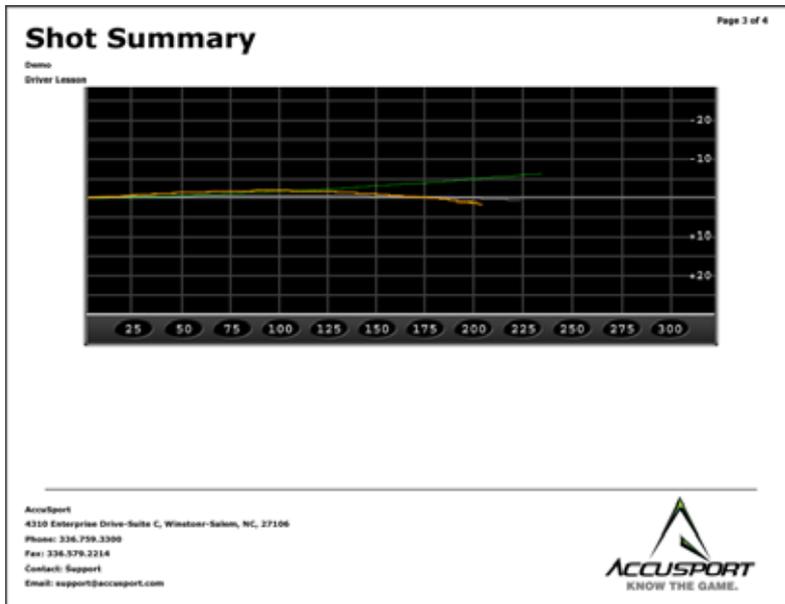


3 ページ: サイドビューショットプロファイルを表示します。個別ショットはすべて、ショット履歴表で割り当てられたプロット色に合わせてプロットされます。

注：レポート生成前に、ショット履歴表でユーザーが色を手動で選択しない限り、平均値はプロットされません。

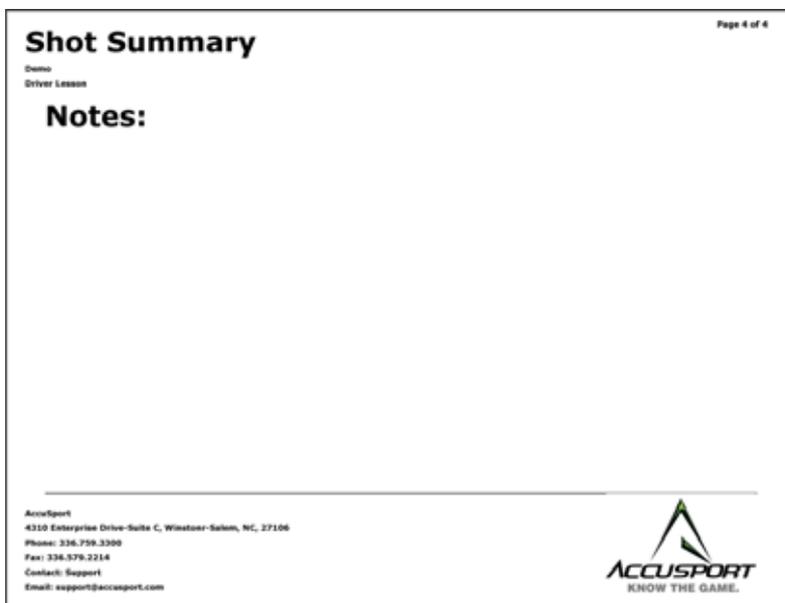


4 ページ: レポート生成プロセスの始めに入力されたメモを表示します。



3 ページ: サイドビューショットプロファイルを表示します。項目平均値のみ、ショット履歴表で割り当てられたプロット色に合わせてプロットされます。

注： 平均値レポート生成時には、平均値に色が自動的に割り当てられます。



4 ページ: レポート生成プロセスの始めに入力されたメモを表示します。